



もねっとくん



校区世帯数 3, 1 2 6
 町内会数 2 0
 町内組数 1 9 3
 校区内総人口 約 1 1, 5 0 0

発行者
 守恒校区社会福祉協議会
<http://www.moritsune.org>



「令和な、まちづくりを！」
 守恒校区社会福祉協議会
 会長 笹月 二男

今年五月一日から元号が「令和」に改められました。万葉集序文「初春の令月にして、気淑く風和ぎ、…」の文言から引用されたものと聞き及んでいます。昭和、平成、令和と三つの時代を生きてきて、昭和は戦争があり、復興と高度経済成長があり、宇宙開発の時代でもありました。平成は自然災害の多い時代でした。が、電子・通信科学の発達で社会インフラが急変し、日本は長寿時代（人生百歳時代）を迎える等、それぞれの佳き時代が回想されます。令和の時代は、「厳しい寒さの後に春の訪れを告げ、見事に咲き誇る梅の花のように」希望に満ちた新しい時代でありますように祈っています。

守恒健康づくり委員会を創設して十一年になります。健康講演会で認知症を校区の皆さんと学習するうちに「守恒SOSネットワーク会議」を立上げ、今ではこのSOS会議は自然災害の多い日本の特性を鑑み防災避難訓練や子どもSOSへと取組んでいます。また、各町内会単位で構成されている高齢者の集まり「サロン」があります。SOS総会ではこの「サロン」の発表交流会や子ども達にも認知症の知識を知っていたりするための事業（豆まきしながら搜索訓練）など。SOS会議は裾野を広げています。

一方、健康に関する行事として「守恒健康クラブ」、「元氣アップ教室」等が最近大変な人気があります。是非、守恒市民センターに見学においでください。毎回そうですが、この欄で自然災害の事を必ず取り上げています。今年も九州から東日本の太平洋岸にかけて停滞した梅雨前線が九州南部に豪雨をもたらしました。二十六年前の鹿児島豪雨（8・6水害）は、四十九人の死者・不明者を出しています。西日本豪雨から二年が過ぎました。幸い守恒校区は災害・避難の実績はありませんが、平成二十一年他校区から守恒市民センターに避難され第7回「夏祭りもりつね」を中止した記憶があります。避難レベルも5段階になり年々防災知識は関心度が増し進歩しています。校区の皆さんは如何ですか？二月の防災訓練には是非参加してスキルを高めてください。つまり、自治会は地域コミュニティの中心の担い手です。今年度も、「防犯・防災」そして、「健康寿命」を伸ばそう！がキャッチコピーです。個人が頼れるのは、身近な自治会の人々なのです（災害実績）。優しい強力な自治会でなければなりません。結びに、校区の一人ひとりが声を掛け合い、お互いに支えあいながら、安全・安心な、明るく住みやすい「守恒校区」をつくりましょう。

守恒SOSネットワーク大会(総会) 6月22日(土)

令和元年度守恒 SOS ネットワーク搜索模擬訓練は、平成 25 年 3 月に守恒が北九州市で初めて行い、本年度で 8 年目になりました。約 40 名の皆様が集まり総会を開催しました。

総会の内容は次のとおりです。

- ① 学習会は「認知症の今と北九州の仕組み」をコーディネーター中村真理子氏の講演。認知症予防とは「認知にならない」ではなく「認知になるのを遅らせる」為の取り組みに重点を置くことが大切。
- ② サロンメンバーと活動の紹介。
7年間サロンを続けていただいている山手一丁目、守恒三丁目、守恒台、守恒ニュータウン、森津根サロンの実践報告。サロン以外青少年育成会、民生委員、健康づくり、婦人会等々が中心になって活動してくださる方々の奮闘努力に脱帽。

守恒校区は笹月会長を筆頭に若い世代の皆様のご協力も得て和気藹々です。昨年度は徘徊者保護無しの素晴らしい実績です。参加して頂いた皆様本当にありがとうございました。

令和元年度の主な事業

4	10	水	学童保育クラブ入所式
5	19	日	第 82 回壮年ソフトボール大会 (雨天中止) 第 9 回婦人ソフトボール大会(守恒中)
6	2	日	第 15 回守恒校区まちづくりスポーツ大会
	22	土	守恒 SOS ネットワーク会議 (総会)
7	30	日	第 11 回小倉南区ボランティアフェスタ
	1	月	「守恒いっせいパトロール」
	7	日	校区子ども球技大会
8	17	水	夏季巡回パトロール～9/6 (金)
	27	土	第 17 回「夏祭りもりつね」(守恒小)
	1	日	「しゃきよう守恒」第 432 号発行
9	4	日	「守恒まち美化の日」
	17	土	「まつりみなみ 2019」(志井公園)
	14	土	守恒校区第 44 回「敬老会」(予備日 9/16)
10	22	日	守恒校区第 44 回「体育祭」(雨天中止)
	25	水	守恒校区「環境バスツアー」
	6	日	「市民いっせいまち美化の日」
11	9	水	ふれあいバスハイク(ふれあいネットワーク事業)
	13	日	第 83 回壮年ソフトボール大会 第 74 回婦人ソフトボール大会(守恒中)
	20	日	校区子ども会文化祭 2019
	27	日	親子ふれあいバスハイク(学童保育クラブ)
12	10	日	第 41 回グランドゴルフ大会(雨天時代替)
	16	土	校区文化祭～17日(日)
	1	日	「守恒まち美化の日」
1	2	月	「守恒いっせいパトロール」
	20	金	冬季巡回パトロール (～1/9)
	22	日	第 12 回「ふれあい守恒」
2	11	土	守恒校区第 16 回「新春のつどい」
	12	日	子どもイベント大会 2019 (守恒小)
3	1	土	防災避難訓練・「守恒 SOS ネットワーク会議」 搜索模擬訓練・豆まき
	15	土	ふうせんバレーボール交流会 (ふれあいネットワーク)
3	2	月	「しゃきよう守恒」第 433 号発行
	9	月	通学路、生活安全パトロール隊合同意見交換会
	21	土	第 11 回守恒健康づくりウォーキング大会
	23	月	春季巡回パトロール (～31日)
28	土	第 5 回森津根ガーデン桜まつり	

第17回
 夏祭りもりつね(7/27)
 ありがとうございます

みんなの広場 30 寄稿

「地域の皆様の温かい眼差しに
 支えられて育つ生徒たち」

山本浩三(守恒中学校 校長)



守恒中学校に赴任し、二年目となる令和元年度を迎えました。昨年度、本校への赴任が決まった時、守恒中へ毎日通う生徒たちの気持ちを少しでも感じたいと思い、通学路など校区周辺や、校内を散策したときのことを述べさせていただきます。

市民センターや自動車試験場、石田駅方面などから学校へと続く長い坂道。途中その周辺に点在する緑豊かな公園。どの場所も清掃が行き届き、地域の皆様の工夫とご配慮で心地よい生活空間が創られていることに感激いたしました。また、校舎を見上げつつ登る坂道(本校校歌には「向上の坂」と歌われています)を、満開の桜を眺めながら登りつめ、学校の敷地内に入ると、玄関前の花壇やプラントには鮮やかな色彩を奏でる季節の花々が咲き誇り、毎朝登校してくる生徒たちや、来校される方々を温かく迎え入れていただくことを強く感じました。さらに校内を奥へ進み、校舎に囲まれた中庭に入ると、開校時から学校の歴史を見守り続けているクスノキの大木が、天に向かって幹をまっすぐに伸ばし緑の葉を茂らせています。その根元には、左右の手を交互に重ね、少し眩しうに空を仰ぎ見る少年像が設置されています。まさに、校訓である「自主」「協調」「敬愛」の精神を象徴し、無限の可能性を秘めた若者の逞しさを感じることが出来る姿です。

校区の散策を通じて、守恒中学校を大切に思い、子どもたちの成長を願う保護者・地域の皆様の心遣いと、「自分たちの学校を誇れる学校にしたい」という生徒たちの熱い思いが代々引き継がれ、この環境が創りだされていることを実感いたしました。人生の中でも、最も多感な時期である中学生時代。保護者・地域の皆様の温かい眼差しに支えられて育つ子どもたち一人一人の夢や希望の実現に向けて、本年度も教育活動を展開してまいります。体育大会や文化発表会、学校開放週間などの際は、是非学校へお越しいただき、生徒たちへ激励の声をかけて頂ければと思います。引き続き、ご支援・ご協力の方程、どうぞよろしく願います。



令和元年度

～新役員紹介～

★守恒校区社会福祉協議会

守恒校区に居住している私たちが主役となって「みんなで考え話し合い協力して」様々な福祉問題等「誰でもが、安心して暮らせる支え合いのまちづくり」を目指す地域団体です。

会長	笹月 二男	自治連（守恒ニュータウン）
副会長	西本 澄雄	民生委員・児童委員協議会
副会長	大島 英昭	体育委員会
事務局長	濱松 千子	学童保育クラブ
会計	松岡 汲子	自治連（守恒第五）
庶務	重松 厚子	婦人会
監査	甲木 知	警察少年補導員
	安福 秀樹	自治連（東日の出町）
評議員	松山 久之	自治連（葉山）
	田吹 和之	自治連（自衛隊官舎）
	川畑 憲一郎	自治連（葉山公務員住宅）
	今浪 博美	自治連（守恒第一）
	西本 好彦	自治連（守恒第三）
	香月 雄一	自治連（守恒東）
	原田 二三夫	自治連（山手サニータウン）
	甲斐 彰	自治連（星和台）
	胡子 正樹	自治連（山手一）
	佐々木 年一	自治連（星和台二）
	安河内 宏行	自治連（守恒公団）
	岩崎 昇	自治連（グリーンタウン守恒）
	岡田 幸恵	自治連（守恒台）
	永吉 剛志	自治連（ラ・ヴェール葉山）
	河本 満夫	自治連（ゆうゆう壱番館）
	鶴沼 悟	自治連（アーティックス山手）
	猪本 徹	自治連（葉山南）
	山根 俊子	ふれあいネットワーク
	永田 武司	年長者会
	片山 洋一	子ども会育成協議会
西本 澄雄	民生委員・児童委員協議会	
平尾 秀一	青少年育成部会	
望月 球美子	食生活改善推進員協議会	
今道 三恵子	保護司	
杉本 妙	守恒中学校PTA	
安本 信孝	守恒小学校PTA	
生田 妙子	守恒市民センター	
顧問	山本 浩三	守恒中学校長
顧問	中村 章	守恒小学校長
顧問	井上 秀作	市議会議員

★守恒校区自治連合会

校区町内会の集まりです。町内相互の連携を深め、校区住民の福祉の増進や文化の向上、環境衛生、また防災や地域の安全等々。定例会を月1回行っています。

会長	笹月 二男	守恒ニュータウン
副会長	松岡 汲子	守恒第五
副会長	安福 秀樹	東日の出
会計	胡子 正樹	山手一
庶務	笹月 二男	守恒ニュータウン
監査	河本 満夫	ゆうゆう壱番館
	猪本 徹	葉山南

★ふれあいネットワーク 連絡調整会議

20町内から選ばれた29人の福祉協力員と民生委員、社協役員が力を合わせて65才以上の一人暮らしの方、身体の不自由な方の家庭訪問や見守りボランティアを、また月1回の連絡調整会議を行っています。

【福祉協力員】

東日の出町	高橋 泰幸・安福 真理
葉山	今池 美恵子
守恒第一	山内 恵・今浪 愛子
守恒第三	加藤 登美子・杉山 ゆき彖
守恒第五	長澤 悦子・南金山 弘
守恒東町	姉川 正枝・小畑 美津子
山手サニータウン	作花 啓子・山口 和代
山手一	山根 俊子・赤星 美紀子
星和台	筑紫 純子・北村 政江
星和台二	題府 富恵・安東 和子
守恒公団	久保 佳矢
グリーンタウン守恒	徳永 正・金城 みゆき
守恒台	永原 葉子・水野 美恵子
守恒ニュータウン	植村 佐美子・池淵 須美子
ラ・ヴェール葉山	竹谷 益枝
ゆうゆう壱番館	井上 久美子
アーティックス山手	阿部 佳代子

★守恒校区まちづくり協議会

守恒市民センターを中心に地域の生涯学習の促進や保健福祉、子育ての手助け、安全安心なまちづくり等々地域の資質向上を目的に運営している協議会です。

会長	笹月 二男	自治連合会
副会長	西本 澄雄	民生委員・児童委員協議会
	大島 英昭	体育委員会
事務局長	濱松 千子	守恒学童保育クラブ
会計	松岡 汲子	自治連合会
庶務	柴尾 工	守恒市民センター
庶務	白濱貴代美	守恒市民センター
庶務	松島 卓也	守恒市民センター
庶務	豊野綾希子	守恒市民センター
庶務	安福 秀樹	自治連合会
部会長 (総務・広報)	安福 秀樹	小倉南消防第14分団
部会長 (防犯・防災)	大島 英昭	体育委員会
部会長 (保健・環境)	香月 雄一	守恒健康づくり委員会
部会長 (守恒子育て)	片山 洋一	子ども会育成協議会
部会長 (生涯学習)	松岡 汲子	自治連合会
監事	重松 厚子	婦人会
	平尾 秀一	青少年育成部会
相談役	山根 俊子	ふれあいネットワーク
	永田 武司	年長者会
	望月球美子	食生活改善推進員協議会
	甲木 知	警察少年補導員
	今道三恵子	保護司
	芳賀 博志	守恒中学校
	南里 幸一	守恒小学校
	杉松 妙	守恒中学校PTA
	安本 信孝	守恒小学校PTA
	伊藤 敏明	庭づくり委員会
	河野 茂	環境推進委員
	香川 昭文	OB&OGの会
	今浪 博美	公園愛護会
井福 征矢	健康づくり推進員	
仁科 博光	守恒保育園	
成定 滯	星和台幼稚園	
顧問	生田 妙子	守恒市民センター館長
顧問	山本 浩三	守恒中学校長
顧問	中村 章	守恒小学校長
顧問	井上 秀作	市議会議員

★民生委員・児童委員協議会

担当区域内の住民の実態や福祉需要を日常的に把握し、地域住民が抱える問題について、相手の立場に立ち、親身になって相談に応じ、福祉の制度やサービスについての情報を的確に提供し、関係機関と協働して問題解決に努めます。社会福祉事業や活動への支援も行っています。

会長	西本 澄雄
副会長	岡本 浪江
委員	小田 しげ子・羽廣 康子
委員	井上 幹子・川原 千壽子
委員	井福 富士子・松尾 聡明
委員	小畑 徹・戸田 和子
委員	本田 勝則
主任児童委員	川嶋 洋子・高尾 美智子

♪守恒校区ホームページで担当区域が確認できます
*守恒校区で検索を。

編集後記

令和になりました。
天平二年（730年）大宰府の長官太宰帥（ださいのそち）を務めた大伴旅人の邸宅で催された「梅花の宴」で詠まれた「万葉集」に収められた「三十二首」の序文が新元号「令和」の出典です。

序文

初春の令月にして気淑く風和ぐ
梅は鏡前の粉を披う蘭は珮後の香を薫らす
万葉集は我が国最古の歌集で読み人は天皇から市井の人です。四千五百十六首 二十巻です。

さて平成から令和への十日間のゴールデンウィーク、皆様充分お楽しみだったと思います。私は75歳の教え子17名が米寿の祝いをしてくれました。60年前の教え子です。ひとりひとり生きざまを語り合う心温まる集いでした。
今ある自分に感謝して、令和の一日一日を皆様に幸多かれと祈っております。
(な)